

平成30年度 市長出前トーク 報告書



日時 平成30年10月28日(日) 午後12時00分～13時30分

場所 すまいるふらの地域交流館(下御料)

参加者数 28人

市側出席者 市長 北 猛俊
教育長 近内 栄一
教育部長 亀渕 雅彦

申込者 スロー・フラノ
代表 央戸 未紀 さん

ほか

【市長 開会のあいさつ】

本日は、子育て世代のみなさんにお集まりをいただき、ランチミーティングでご飯を食べながら意見交換をするということで、大変歓迎をしているところです。この後も、こうした機会をつくっていただきたいと思います。現在、各地域で地域懇談会を開催し、地域のみなさんと意見交換を行っています。主なテーマは、JRのことや市庁舎のことですが、地域の課題についてもご意見をいただいています。その中で、子育て支援についてのご意見もいただいています。市としても、みなさんが実際に子育てをするうえで、行政がどこを支援していけば最も効果が上がるのかについて、みなさんからご意見をいただきたいという動きをつくっているところです。

本日は、市の子育てに関わる取り組みの説明もさせていただきます。その中身もご理解をいただきながら、みなさんが、こんなことで困っているという意見を出していただき、意見交換をさせていただきますよう、よろしく願い申し上げます。

【穴戸代表 開会のあいさつ】

本日は、市長にお越しいただきましたので、みなさんが日頃、思っていることや市長に伝えたいこと、市への要望など、食事をしながら気軽に市長に伝えていただきたいと思います。

食事の方ですが、私は「地消地産」をめざしていますので、できるだけ富良野の食材を使いたいと思っています。黒米、黒千石大豆、豆腐、ほうれん草、にんじん、甜菜、手作りの味噌と梅干、ごぼう、干しシイタケ、ブルーベリー、軟白長ネギなどを使っています。

1. 図書館の利用について

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○子どもができたときに市のブックスタートで絵本をもらい、ありがたく感じた。図書館は、静かに本を読みたいという利用者が多いなかで、子どもを連れていくと、どうしても騒いでしまったり、読み聞かせをするときにも声をだしてしまったりなどで、行きづらく感じる。もっと図書館に通い、本を借りて読む習慣をつけたい。お母さんが大きな声で読み聞かせができるように、例えば図書館の2階の空いている部屋を使用するなどしてほしい。現在の場所では、係の方に注意をされたり、他の大人の利用者にも気が引けるので、図書館から足が遠のいている。何年も前から要望している「全天候型の遊び場」についても、今すぐの実現できなければ、図書館などの施設を活用して工夫してほしい。</p> <p>○図書館に小さな子どもと一緒にいき、本を読みたいと思っているが、小さな声でといっても難しく、行きづらい。中富良野町は新しく</p>	<p>○図書館の利活用のアイデアは持っています。今のご意見も実現できるように考えていきたいと思います。いろんなところで子育ての環境が整えられるように、工夫をしながら、一緒に考えていきたいと思っています。</p> <p>○過去にも同じことを考えていましたが、いろんな意見があり実現しませんでした。しかし、ハロウィンパーティーは、最初の頃は苦情も</p>

なり、明るい雰囲気でおもちゃもある。子どもが行きやすい雰囲気づくりをしてほしい。静かに勉強をしている大人の方の利用も必要なので、2階にテーブルを置いて勉強のスペースをつくってはどうか。図書館1階の小上がりを利用する人は少ないので、赤ちゃんでも過ごせるようなスペースに活用させてほしい。新しい施設をつくるよりも、現状あるもので利用方法を少しずつ改善してほしい。

○昔、学校に移動図書館が来ていた。子育て中のお母さんが、気軽に外出して集まれるように移動図書館のようなことも考えてほしい。

○知人が、「ドゥーラカフェ」をしている。赤ちゃんと遊んだり、お茶を飲んで一息ついたり、みんなで一緒にご飯を食べたりして、お茶を飲みにきた人たちが自然に交流して、悩みごとを相談できるお母さんたちの憩いの場所になっている。そこに移動図書館が来てくれたら、本を読んで楽しめる。そんな場所があれば良い。

ありましたが、子どもとお母さんたちの支持があり、継続できています。最近は、うるさいという苦情は聞いていません。いろんなアイデアと一緒に良い図書館づくりをしていきたいと思います。

2. 子どもの医療費について

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○自分の周りの子育て世代の方々は、移住してきた人が多い。移住のきっかけは、東京の移住相談会や農協のアグリパートナーのイベント、スキーなどの観光もある。行ってみようかなというきっかけの人も多く、たまたま縁があって住み続けている人も多い。農家の方は農地があるので永住するが、特別な理由がない人は、どこに住むかは自由。子育てを考えたとき、まちの子育て支援を比べて住む場所を探す人が多くなってきた。実際に、富良野から転出し、東川町や中富良野町に家を建てる人も増えている。富良野は有名なので移住する人も多い。住みたいまちランキングでも常に上位。富良野に住みにくる人はいるが、住み続けないで出て行ってしまうのは、もったいない。人材の流出につながる。他の市町村と比べて、富良野の魅力は何か。子どもを育てる親としては、医療費無料、保育料無料などが大きな魅力。収入が低くても、家賃が</p>	<p>○子育て支援全般についてご意見をいただきました。子育てを考えるときは、基本を大事にしたいと思っています。子どもを授かるころから、子育ては始まります。生まれた後も、ファミリーサポート事業のように、子育てが困難なところを解決していく方法も大事だと思います。国は幼稚園と保育所の料金を、来年の10月から無料化する動きがあります。地方自治体としては、会計年度の途中ではない区切りの良い時期、国の責任のなかで制度をつくるよう要請をしています。小学校でも、様々な施策を展開しています。高校や大学進学では奨学金があり、子育て世代の負担を減らしていこうという取り組みをしています。総体のなかで、医療費の無償化が特筆すべきことか、最も優れた制度かを検討しているところです。医療費の関係では、子どもたちが医療を受けたいときに、しっかり受けられるような体制をつくる。子どもが小さいときに</p>

<p>高くても、選択肢のひとつにあがってくる。</p> <p>○上富良野町は小児科がないので富良野まで通ってくる。上富良野町の懇談会でも、病院のことは必ず要望がでるが、上富良野町は予防と健康に重点を入れている。小学5年生と中学2年生の検診では、全世帯を対象に実施し、親と子どもと一緒に話を聞く機会がある。成長しても健康で医療にかからない体づくりを推進している。</p>	<p>は、少しでも気になることがあれば、診てもらえるような環境にしたいと思います。成長して抵抗力がついてからも、様子をみながら診てもらえるように、子どもの医療を充足していきたいと思います。また、予防や検診の充実も、医療とあわせて取り組んでいきたいと思います。そうした体制のなかで、子育ての環境を充実していきたいと思います。</p>
--	---

3. 特別支援学級について

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○小学校の特別支援学級に通っている。中学校までは特別支援学級があるが、高校にはないので養護学校などに行く必要がある。富良野市には障がい者が通える高校がない。親と離れたくないという子もいるので設置を検討してもらいたい。</p>	<p>○学力には心配ないけれど、支援を必要とする子どもは増えています。現在、道立の高校でも支援を受けられるような体制づくりを検討しているところです。市としては、中学校と高校で連携し、進学するときの情報共有を行っています。将来的には、富良野沿線のなかで、高校でも支援を受けられるような環境がつかれるよう、北海道教育委員会にお願いしながら、引き続き検討したいと思います。</p>

4. スクールゾーンの除排雪について

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○スクールゾーンの標識が、除雪のときに雪を堆積して看板が見えなくなる。冬休み期間中に、可能な限り排雪してスクールゾーンを確保してほしい。町内会で設置している看板も含めて対応をお願いしたい。</p>	<p>○今年の春先は、雨が降った後に低温になり大変なことがありました。基本的に、除雪は通学路から開けるようにしていますが、十分な体制になっていない箇所もあると思います。雪が多くなると交差点に堆雪することもありますので、業者への指導をしていきたいと思っています。また、アパートの敷地内を除雪する業者がいますが、この業者が雪を歩道に押し付けることもあります。子どもたちが危険な状態にならないよう、除雪の方法を共有していきたいと思っています。</p>

5. 35人以下学級について

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○北海道は小学2年生までが35人以下学級で、その他は40人以下学級。段階的に35人以下学級が進むと思っていたが、現状は適用されていない。特別支援学級に支援員を導入して手厚い体制を整えているが、支援員は指導ができない。小学3年生以上の学級編成でも35人以下学級を適用し、指導のできる教員を増やして、きめ細かい指導をしてほしい。高学年や中学生は体が大きくなり、座席の周囲に余裕がない。参観日には教室に入れない。支援員の増員よりも、指導のできる教員を増員し、1学級あたりの人数を35人以下にしてほしい。</p>	<p>○学校教育法などの配置基準で決まっています。小学1年から2年生までは35人以下、中学1年生は35人以下となっています。それ以外は40人以下学級です。国と道が2分の1ずつ費用を負担しています。教員の人事と配置の権限は北海道教育委員会が持っています。国の関与も非常に厳しくなっています。35人以下学級については、毎年要望していますが、実現しない状況です。また、教員の人材不足の問題もあります。旭川市では、年度当初から9人の教職員が不足したままスタートしたと聞いています。富良野市でも、退職した教員を探しながら人材不足に対応している状況です。教員免許を持つ支援員も、継続して探していますが、なかなか見つからない状況が続いています。現在、東中学校と富良野小学校6年生が40人学級ですが、この後は、子どもの人数が激減するため、40人学級は生じないと思います。いずれにしても教員の人材確保が課題です。</p>

6. 子どもの全天候型遊び場について

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○南富良野町から買い物によく富良野に来る。1歳3ヵ月の子どもがいて、買い物帰りに立ち寄る場所が少ない。富良野は観光のまちだが、子連れで遊ぶ場所が少なく残念。</p>	<p>○子どもの全天候型の遊び場ですが、現在、市庁舎の建て替えに関わり、検討委員会が開かれています。新庁舎の中に子どもが遊べるスペースをつくってはどうか、という意見も出されています。他市を訪問した際、自治体運営の施設や空港の中にある有料施設も見学してきました。そうした施設を参考にしながら実現できればと思っています。施設の中身は、ただ遊べるだけでなく、遊具を使うことで子どもの脳を刺激したり、お父さんやお母さんも刺激を受けて、子どもよりも一生懸命になるようなものもあります。用事があるときだけ来る市役所ではなく、お父さんやお母さんが子どもと一緒に遊びに来るような、癒しのある庁舎にするために、現在、研究しているところです。</p>

7. ファミリーサポートセンターについて

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○上富良野町と中富良野町は合同で子どもサポートふらのに委託をして事業を実施している。富良野市は単独で実施していて、南富良野町は検討中。自分は移住して新規就農し、子どもが4人。子どもが病気のときは仕事に支障がでないように1人で面倒をみている。母子家庭だと本当に大変。人口減少社会で、女性も働く必要があり、今後も増えていく。子どもが小さくても、病気になっても働ける環境を整備する必要がある。南富良野町はマンパワーが足りなくてできない。できれば広域での子育て支援を考えてほしい。病院はみんな協会病院の小児科に通っている。富良野市はハブ機能を持っているので、子育て支援も富良野市が5市町村を支えるような体制をつくれなにか。</p>	<p>○広域連携では、ファミリーサポートセンターも話題になっています。富良野は上富良野と中富良野を参考にして運営していますが、南富良野も一緒にできないかと担当者レベルで協議をしています。子どもが生まれたとき、仕事をするとき、助けてくれる人がいなければ、職を失うことにもなりますので、大事な事業だと理解しています。</p>

- 上富良野町のファミサポでは、病時、病後時の子どもの対応について、富良野市から年に数回相談を受けている。広域連携も進めたい。

8. その他

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<ul style="list-style-type: none"> ○富良野で育ち転出して社会人になった人でも、富良野を応援できる仕組みとして、ふるさと納税の充実をしてほしい。観光のまち富良野、子育て支援と高齢者介護のまち富良野という、2つの看板が掲げられるようなまちになってほしい。 ○5人の子どもがいると予防接種にかかる費用が大きな負担になる。支援があると助かる。 ○進学にかかる奨学金の充実と、奨学金を受けた後に富良野に帰って来るような仕組みをつくってほしい。 	

【市長 閉会のあいさつ】

貴重なご意見をいただきありがとうございます。子どもの声が聞こえるなかでの子育てに関するご意見、たいへん身に染みる思いです。ファミリーサポートの関係では、つらい経験もあります。他市で、子どもが風邪を引いて仕事を4日休んだとき、職を失ったと聞きました。そうしたときに手助けできれば良いと思います。誰かが支えてくれるような家庭環境を築いていくことも子育て支援だと思います。

本日のご意見を参考にしながら、実現に向けて努力をさせていただきます。また、この後もいろんなご意見を寄せていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

【穴戸代表 閉会のあいさつ】

本日は、お忙しいなか貴重な時間をつくっていただきありがとうございます。大学進学で富良野を離れた後、安心して帰って来られるように、仕事もあり、住宅や医療もあるようなまちになるよう、ここにいるお母さんたちが力をあわせて、市長にもたくさん協力をいただきながら、そうした富良野をつくっていきたいと思います。12月にも集まりを予定しています。

本日は、ありがとうございました。